

1 一般会計

(1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 本庁舎等機械警備委託	472,296 円	当直員の警備に加え、深夜の時間帯に庁舎に機械警備を導入することで、警備体制の強化を図った。
2 ダイヤルイン導入	326,612 円	電話交換業務を委託化し、勤務体制も3人から2人に縮小することに伴い、外線着信を交換手を通さず係の受話器で直接受けられるダイヤルインを導入し、電話交換事務量の軽減を図った。 ・工事費 162,225 円 ・回線使用料 164,387 円
3 職員肝炎及び破傷風予防接種委託	77,994 円	職員の肝炎及び破傷風の感染防止のため検査及び予防接種を実施した。 ・破傷風予防接種 4人 ・B型肝炎抗原・抗体検査 1人 ・C型肝炎抗体検査 15人 ・B型肝炎予防接種 1人
4 文書管理システムの導入	6,227,760 円	電子自治体に向けての基礎となる文書管理システムを導入し、全庁において文書管理事務の電子化を図った。 平成15年10月から稼動 ・文書管理プログラム保守委託料 730,800 円 ・文書管理システム運用支援委託料 3,780,000 円 ・文書管理システム操作指導委託料 525,000 円 ・文書管理システムプログラム借上料 1,191,960 円
5 例規集検索システム借上	126,000 円	条例等の制定、改廃等から情報共有化までの業務の効率化を図るとともに、例規集をインターネット公開し市民等と市政の情報の共有化を図った。
6 市勢記録ビデオ製作委託	323,274 円	1年間の市の行事、イベントなどケーブルテレビ局で放映された制作物を市勢記録ビデオテープに編集して、市の式典での上映や図書館での貸出しを行った。また、聴覚障害者の方や難聴者の高齢者の方への対応用として、字幕スーパー付版も作成した。
7 広報写真デジタルベース化	391,807 円	過去25年間以上の広報写真、50年前の資料写真などをデジタルベース化し、貴重な写真の劣化防止、保管場所の省スペース化を図った。
8 市内循環バス導入検討調査の実施	1,575,000 円	市内公共交通に関する問題点を整理し、市内循環バスの導入に関する課題抽出を行う基礎的な調査検討を実施した。 ・成果品 「市内循環バス導入検討調査報告書」 ・A4判 100部
9 政策課題別チームの活用	490,099 円	市の総合計画に基づく政策課題について、横断的及び総合的な研究・検討を行うため、職員による政策課題別チームを編成し、視察研修等を実施した。 ・職員旅費（都市景観PT視察） 73,040 円 ・消耗品費等 18,059 円 ・まちづくり企画演習委託料（都市景観PT） 399,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
10 「いっしょに話そう まちづくりフォーラム」の実施	720,934 円	<p>市民がフォーラムを通じ、市政の実態及び課題について認識を深めるとともに、行政との協働や役割分担に係る意識を高め、市民参画の促進を図ることを目的として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 6回 ・分野別テーマ 子育て支援・コミュニティ・ボランティア・都市景観 ・延べ参加人員 270人（職員72人含む。） ・コーディネーター及び話題提供者等謝礼 200,000円 ・消耗品費 9,838円 ・印刷製本費「記録集」300部 279,900円 ・テープ起し手数料 231,196円
11 福生市総合計画修正後期基本計画策定事業	4,725,000 円	<p>平成16年度に前期基本計画の計画期間が終了することに伴い、修正後期基本計画を策定するための基礎資料として、市民アンケートなどを実施し、基礎調査報告書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果品 「福生市第3期総合計画修正後期基本計画策定基礎調査報告書」 ・A4判 300部
12 防衛施設周辺まちづくり構想策定事業	8,944,888 円	<p>防衛施設（横田基地）の存在を活用し、市民の利益及び福祉の向上に資するまちづくり構想策定に向け、平成14年度実施の基礎調査に基づき、平成15年度は公募市民による横田基地周辺まちづくり会議が発足し、まちづくり会議の検討をもとに、同会議代表者による策定委員会において市民プランを策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果品 「防衛施設周辺まちづくり構想策定事業報告書（市民プラン）」 ・A4判 300部
13 ネットワーク整備	22,449,063 円	<p>総合行政ネットワーク（L G W A N）への参加、インターネットへの接続、グループウェアの利用、ホームページのリニューアル等を行うため、庁内ネットワークの再構築、庁舎間ネットワークの高速化、職員へのパソコン配備等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L G W A Nへの接続 631,365円 ・庁内ネットワークの再構築 15,243,690円 ・庁舎間ネットワークの高速化 4,651,710円 ・職員へのパソコン配備 1,922,298円
14 電子自治体共同運営への参加	404,000 円	<p>都区市町村電子自治体共同運営協議会は、東京都及び区市町村における電子自治体の円滑な構築に向けて、情報システムの運営等を相互に協力し、共同で行うことを目的に設立された。平成15年度は、電子申請・電子調達の実現を目指し、共同運営システムの基本設計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都区市町村電子自治体共同運営負担金 404,000円
15 ホームページ推進事業	5,578,650 円	<p>市のホームページ情報の充実を図るため、コンテンツ（掲載情報・内容）管理システムを導入し、各課による情報作成及び更新管理が行えるように、システムを構築した。</p> <p>また、庁内LANからインターネット検索、メール交換等を行えるようにシステムを構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ホームページへのシステム構築 4,979,520円 ・庁内LANからインターネットへの接続 599,130円
16 町会会館建設費等補助金	15,962,000 円	<p>南町会住民の活動の場である会館建設に補助金を交付することにより、地域住民の福祉の向上を図った。</p>
17 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	58,412,300 円	<p>私立幼稚園等に在籍する園児の保護者に対して補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 延べ9,205人 57,955,100円 ・幼稚園類似幼児施設保護者負担軽減補助金 延べ96人 457,200円

事業名等	事業費	内容と成果
18 幼稚園就園奨励費補助金	37,482,022 円	私立幼稚園の設置者が園児の世帯の所得に応じ保育料等を減免する措置に対して、その減収分を幼稚園に補助することにより就園奨励を図った。 ・対象人数 555 人
19 カーナビゲーションの設置	275,414 円	本機を設置した事により、都内、他府県への訪問収納業務の効率を高め、収納業務（臨戸訪問）の迅速化を図り、併せて職員の安全も確保した。 ・カーナビゲーション（2台） 247,800 円 ・アンテナ（2個） 27,614 円
20 土地・家屋現況図修正委託	1,837,500 円	年間異動分について、現況図のデジタル化と登記・未登記家屋の色分け表示を行い、課税客体の正確な把握に努めた。
21 収納システムの改良	735,000 円	システムを活用することにより、市・都民税（特徴）の督促事務処理の迅速化を図った。 ・システム改良委託 735,000 円
22 住民基本台帳カード発行事業	1,029,000 円	住民基本台帳ネットワークシステムにより希望者にはカードの交付がされ、住民票の広域交付、転出手続きの簡素化等が実現した。 また、身分証明として使用できることから市民の利便性が図られた。

（2）民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 女性悩みごと相談事業	405,300 円	女性が抱える様々な悩みに対する解決の糸口をさがすための相談窓口を羽村市と共同で開設し、住所地の市役所には相談しにくいというニーズに応えるため、両市の市民の相互利用を図った。 ・専門女性カウンセラーに委託
2 国民健康保険レセプト確認委託	2,502,500 円	医療費適正化の重点対策の一環として、保険者として診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。 ・内容点検枚数 222,036 枚 ・診療報酬保険者負担額 A 2,671,231,070 円 ・再審査の結果減額された額 B 10,575,367 円 ・被保険者一人当たり過誤調整額 C (B / 被保険者数) 540 円 ・過誤調整率 D (B / A) 0.40 %
3 国民健康保険システム改良委託	2,140,950 円	国民健康保険法の一部改正により、保険税の賦課（所得割税額）が一部変更になったことに伴い、国民健康保険賦課システムについて、適正に事務処理できるよう改良した。 ・国保賦課システム改良委託
4 地域福祉計画改定委託	3,599,400 円	平成 12 年度に策定した地域福祉計画を、老人福祉計画、老人保健計画、障害者計画、次世代育成支援行動計画の性格を併せもった計画に改定する必要があることから、計画内容の検討、課題の整理、必要資料等の作成を委託し、平成 16 年度を初年度とする第 3 期福生市地域福祉計画を策定した。 ・成果品 「第 3 期福生市地域福祉計画」 ・規格 A 4 判 92 ページ ・部数 500 部

事業名等	事業費	内容と成果
5 バリアフリー推進計画 策定	96,600 円	市職員で構成するプロジェクトチームがまとめたバリアフリー検討結果報告書をもとに、福生市バリアフリー推進計画を策定した。 「市民が互いを尊重し、ルールやマナーを守りながら、自由に行動し、活動できるまち」を目指し、施設のバリアフリーのほか、心・情報・施策面等のバリアフリーを推進する。 ・成果品 「福生市バリアフリー推進計画」 ・規格 A4判 49ページ ・部数 400部
6 福祉のまちづくり普及、啓発事業	165,460 円	福祉のまちづくり推進、バリアフリーについてのポスター・チラシを作成し、公共施設、小中学校、保育園、幼稚園、商工会等に配付し、市民、事業者に対し普及・啓発を図った。 また、市施設のバリアフリーを図るため、「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」を購入し、担当課に配付した。
7 地域福祉推進事業	6,539,000 円	市内の非営利団体が実施する福祉サービス等の事業に対し、地域に根ざした安定した運営が確保されることを目的に、移送サービス及び家事援助サービスに要する経費の一部を補助することにより、高齢者、障害者等の在宅福祉サービス等の普及及び拡大を図った。
8 障害福祉電算システム 委託	11,025,000 円	障害者福祉システム（身体障害者手帳交付、支援費審査支払等）の導入により、諸データの保存・蓄積及び電算処理による事務の効率化を図った。
9 精神障害者ホームヘルプ サービス事業	156,050 円	精神障害者にホームヘルパーを派遣し、食事、身体清潔の保持等の便宜を図り、日常生活の支援を図った。 ・派遣件数 34件（対象者3人）
10 精神障害者ショートステイ 事業	21,210 円	精神障害者生活訓練施設と委託契約を結び、一時的に在宅で、介護を受けることが困難になった精神障害者がその施設に入所し、必要な介護を行うことにより精神障害者及びその家族の福祉の向上を図った。 ・施設名 ほたるの里 ・利用日数 3日（対象者1人）
11 知的障害者更生施設建設 建設費補助金	3,700,000 円	知的障害者更生施設の建設費の一部を補助し、優先入所枠を確保した。 ・補助期間 平成15年度から平成34年度 ・施設名 知的障害者更生施設 金木星の郷 知的障害者更生施設 愛幸
12 れんげ園増築事業	59,954,370 円	障害の程度に応じた作業訓練及び機能訓練を実施することができる施設を増築することにより、障害者の自立の促進、身体機能の維持向上等に資する施設環境の整備を図った。 増築面積 1階 91.54㎡ 2階 85.43㎡ ・設計委託料 2,730,000 円 ・監理委託料 1,228,500 円 ・工事請負費 54,790,050 円 ・備品購入費 1,205,820 円
13 老人保健施設借入金 利息補助金	4,445,502 円	介護老人保健施設の整備を行う設置者に対し、その資金の借りに係る利息の一部を福生市が補助することにより、施設の整備及び拡充を促進し、もって療養環境と老人福祉の向上を図った。
14 老人クラブ物置設置	816,900 円	高齢者が生きがいと健康づくりのために行う各種スポーツに使用する用具等を収納する物置を、市内10箇所の公園等に設置した。
15 在宅介護支援センター 運営委託	50,366,350 円	市内の社会福祉協議会、社会福祉法人及び医療法人社団に在宅介護支援センター事業を委託し、在宅の要援護高齢者等及びその家族等に対し、在宅介護の総合的な相談に応じるとともに、必要に応じた保健福祉サービスが受けられるよう、関係機関との連絡調整及び実態把握を行い、要援護高齢者等の福祉の向上を図った。

事業名等	事業費	内容と成果
16 高齢者住宅事業	18,208,792 円	<p>地域高齢者住宅計画に基づき、市営住宅及び民間借上住宅に、生活協力員を配置した高齢者住宅を確保し、高齢者が住み慣れた街で安心した生活が営めるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二市営住宅高齢者住宅 11 戸 <ul style="list-style-type: none"> 生活協力員住宅 1 戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア熊川） 11 戸 <ul style="list-style-type: none"> 生活協力員住宅 1 戸 ・都営熊川アパート 38 戸 <ul style="list-style-type: none"> 生活協力員住宅 2 戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア福生） 18 戸 <ul style="list-style-type: none"> 生活協力員住宅 1 戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア熊川第二） 16 戸 <ul style="list-style-type: none"> 生活協力員住宅 1 戸
17 高齢者生きがい活動支援デイサービス運営委託	44,678,145 円	<p>在宅において比較的自立した生活ができる高齢者に対し、通所による生きがい趣味活動、日常動作訓練等の各種サービスの提供を行った。更に、高齢者の生きがいづくり及び心身機能の維持向上を図るとともに、介護予防及び閉じこもり防止に資するため、市内の社会福祉協議会及び社会福祉法人に運営委託し、福祉の向上を図った。</p>
18 家族介護者教室事業委託	493,261 円	<p>高齢者を介護している家族に対し、介護方法等の教室の開催及び家族介護者の交流事業を行うことにより、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図った。 委託先 福生市社会福祉協議会</p>
19 高齢者 IT 講習実施委託	1,750,000 円	<p>高齢者を対象にパソコン教室を開催することにより、高齢者が社会参加及び地域活動への参加を促進することを図った。 委託先 福生市シルバー人材センター</p>
20 老人医療レセプト確認事務委託	2,520,000 円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、老人医療診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 158,456 枚 ・総医療給付額 A 3,342,852,516 円 ・再審査の結果、減額された額 B 53,999,520 円 ・受給者一人当たり過誤調整額 C (B / 平均受給者数) 9,989 円 ・過誤調整率 D (B / A) 1.62%
21 訪問介護利用者負担額助成	11,575,824 円	<p>訪問介護を利用する居宅要介護被保険者又は居宅要支援被保険者の低所得者に対して、法施行に伴う利用者負担額の激変緩和の観点から、利用者負担額の一部を助成した。</p>
22 つくし保育園防音機能復旧（復機）事業	31,454,125 円	<p>空調機の老朽化に伴い、個別空調方式による空調機器の入替えを行うことにより施設を整備し、入所児の保育環境の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理委託料 972,625 円 ・工事請負費 30,481,500 円
23 学童クラブ委託	88,350,924 円	<p>保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校 1 年生から 4 年生の児童に対し、遊びや生活の場を与えることを目的とした学童クラブ事業を福生市社会福祉協議会に委託し、児童の健全育成を図った。</p>
24 武蔵野台学童クラブ非常口新設工事	2,296,350 円	<p>一方向であった避難口を二方向にし、児童の安全確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 248,850 円 ・工事請負費 2,047,500 円

(3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合負担金補助金	382,219,000 円	休日夜間における救急医療を継続して実施し、高度医療機器の活用により検査、治療の充実を図り、良質な医療の提供に努めた。また、公立福生病院基本構想に基づき、基本設計に着手した。
2 地域保健サービス推進モデル事業	7,797,780 円	生物化学等テロ災害の発生に備え、市民への影響や被害を最小限に食い止めるため、関係機関と連携し訓練及び講演会を実施した。 ・災害緊急訓練 平成 16 年 2 月 5 日(木) ・講演会 平成 16 年 3 月 14 日(日) ・事業費 7,010,280 円 保健センター機械室に化学防護服等の保管場所設置工事を行った。 ・工事請負費 787,500 円
3 環境基本計画の策定	10,028,000 円	平成 14 年度環境市民会議作成の「福生市環境基本計画市民プラン」をもとに、平成 15 年度は環境審議会を開催し、「エコシティふっさ」をめざす「福生市環境基本計画」を策定した。また、策定の一環として平成 15 年 6 月 1 日に多摩川中央公園、柳山公園等を会場に環境フェスティバルを開催した。 ・環境審議会委員報酬 221,000 円 ・環境基本計画策定等委託料 9,807,000 円
4 ごみ有料化実施概要作成	1,512,000 円	ごみ有料化実施までの経過をまとめた記録集を作成し、今後の施策の参考資料とした。 ・部数 300 部
5 ごみ分別の手引き作成	2,730,750 円	市民がごみを出す際に利用していただくため、可燃ごみ、不燃ごみ、資源等の分別の基準を分かりやすく表示した手引きを作成した。 ・部数 33,000 部

(4) 商工費

事業名等	事業費	内容と成果
螢まつり補助金	1,520,000 円	地域住民によって催される螢まつりに対し、地域の活性化に寄与する事業として補助金を交付した。平成 15 年度は、来場者の利便を図るために来場者誘導を目的とする桃太郎旗等の購入費について臨時的に補助金を増額した。

(5) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 道路新設改良事業	165,165,092 円	1 市道幹線 -10 号線改良事業費 90,342,000 円 商店街のイメージアップ及び活性化を図ることを目的として、銀座通りのうち東銀座商栄会の区間について改良工事を実施した。 延長 330.0m、幅員 6.0m、舗装面積 1980.0 m ² ・土地測量委託料 1,501,500 円 ・工事請負費 88,840,500 円 2 市道第 262 号線改良事業費 36,746,174 円 道路幅員 3.3m を 4.0~5.0m に拡幅し、地域住民の利用を向上させ、併せて交通安全を図ることを目的として改良を実施した。 延長 124.0m、幅員 4.0~5.0m、舗装面積 554.3 m ² ・土地測量委託料 1,030,050 円 ・土地鑑定委託料 152,250 円 ・工事請負費 13,786,500 円 ・用地買収費 17,559,509 円 ・家屋及び工作物等補償料 4,217,865 円

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>3 市道第 196 号線改良事業費 35,346,918 円 本路線周辺道路に行き止まり部分があったため、地域住民が不便をきたしていた。このため用地買収を行い、道路整備をすることにより生活環境の向上を図ることを目的として実施した。 延長 103.4m、幅員 4.0m、舗装面積 324.1 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地測量委託料 855,750 円 ・土地鑑定委託料 208,950 円 ・設計委託料 1,417,500 円 ・工作物調査委託料 192,780 円 ・工事請負費 6,430,200 円 ・用地買収費 21,945,550 円 ・家屋及び工作物等補償料 4,296,188 円 <p>4 市道第 1061 号線改良事業費 2,730,000 円 道路幅員 1.82m を 5.0m に拡幅することで緊急車両の通行も可能になり、併せて地域住民の生活環境の向上が望めるため、改良工事の設計委託を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 2,730,000 円
2 橋りょう維持事業	9,345,000 円	<p>1 橋りょう耐震補強事業費 4,987,500 円 玉川上水に架かっている橋のうち、平和橋について、耐震性を適切なレベルまで向上させるための工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 294,000 円 ・工事請負費 4,693,500 円 <p>2 南田園三丁目歩道橋塗装事業費 4,357,500 円 南田園三丁目に架かる歩道橋について、経年による腐食を防ぐため、塗装工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 4,357,500 円
3 緊急道路整備事業	138,665,821 円	<p>市道幹線 -5 号線改良事業費 138,665,821 円 歩行者の通行の利便性を向上させるため歩道幅員を 2.5m から 3.5m に拡幅し、併せて交通安全の確保を目的として改良工事を実施した。 延長 628.5m、幅員 16.0m、歩道舗装面積 3124.0 m²、車道舗装面積 5745.0 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地測量委託料 5,670,000 円 ・土地鑑定委託料 304,500 円 ・監理委託料 2,383,500 円 ・工事請負費 118,632,150 円 ・用地買収費 8,230,570 円 ・家屋及び工作物等補償料 3,445,101 円
4 都市計画道路線形図作成委託	5,565,000 円	<p>都市計画道路 3・3・30 号線(武蔵野工業線)の計画路線に対し、建築申請等の指導をより円滑に行えるよう、計画の線形を数値情報による管理で行うことを目的とした測量委託を実施した。 平成 15 年度は、前年度決定した線形図を、福生市公共基準点の座標値を基にした 1/250 の地形図に記入し、都市計画道路線形図を作成した。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
5 都市再生交通拠点整備 事業補助	815,800,000 円 平成 15 年度分 642,000,000 円 (内訳) 国庫補助金 321,000,000 円 市補助金 321,000,000 円 平成 14 年度繰越分 173,800,000 円 (内訳) 国庫補助金 86,900,000 円 市補助金 86,900,000 円	民間事業者の大型商業施設建替えに際し、福生駅のバリアフリー化及び大型駐輪場を併せて一体的に整備した事業に対し、補助金を交付した。 これにより、駅周辺の活性化及び快適で誰もが利用しやすい駅前空間を構築することができた。 (事業概要) ・福生駅自由通路 延長 140m (幅員 4m ~ 12.5m) ・エレベーター 4 基 (15 人乗り 2 基、25 人乗り 2 基) ・地下駐輪場 自転車 2,200 台、ミニバイク 148 台 ・工事期間 平成 14 年 9 月 18 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日 ・全体事業費 (平成 14・15 年度) 国庫補助金 482,000,000 円 市補助金 482,000,000 円 事業者負担 487,350,000 円 計 1,451,350,000 円
6 都市計画道路 3・4・31 号線 (柳通り) 整備 事業	497,674,169 円 内訳 測量委託料 619,500 円 不動産鑑定委託料 443,100 円 土地評価書作成委託料 117,600 円 分筆登記申請委託料 40,850 円 管理舗装及び管理 施設工事 971,250 円 用地買収費 478,914,493 円 家屋及び工作物 等補償料 16,489,424 円 事務費等 77,952 円	東京都では、本路線を平成 8 年 3 月に策定した「多摩地域都市計画道路の第二次事業化計画」の前期事業化予定路線と市施行の位置付けをし、平成 17 年度を目途に完成すべき路線とした。 本路線は、近年交通量が増加しており、また、幅員も狭く歩道もなく危険な状況にある。よって、歩行者等の安全と歩行空間を確保するため、平成 12 年度に着手し、平成 17 年度完成を目途に事業を進めている。 1 委託 ・測量委託 一式 ・不動産鑑定委託 一式 ・土地評価書作成委託 一式 ・分筆登記申請委託 一式 2 管理工事等 5 件 3 用地買収面積 1,338.72 m ² 4 東京都市町村土木補助額 148,830,000 円
7 田園西土地区画整理事業	203,842,556 円 内訳 業務委託料 203,240,821 円 事務費等 601,735 円	(財)東京都新都市建設公社に業務を委託し、権利者及び関係機関との協議を行うとともに、区画道路及び公園の築造 (田園広場公園の改修) 等を行った。更に工事の完成に合わせ画地の確定測量等を実施し、換地処分を行った。 (工事内容) 区画道路築造 ・幅員 10.0m 延長 49.5m ・幅員 6.0m 延長 19.5m 公園築造 ・面積 2,815.76 m ² (換地処分公告) 平成 16 年 3 月 31 日
8 睦公園改良工事	7,519,260 円	都道 7 号線 (睦橋通り) の拡幅に伴い、睦公園の改良工事を行った。また、合わせて老朽化した便所も改築を行った。 ・園路広場工 ・給排水設備工 ・植栽工 ・休養施設工

事業名等	事業費	内容と成果
9 公園便所改築工事	7,035,000円	老朽化した便所を、高齢者、障害者の方にも利用しやすいように改築工事を実施した。 ・便所(2.715m×2.515m)1棟 (大小洋便器各1基 手洗機器1基)
10 下の川緑地(仮称)新設事業	368,113,397円	市民の憩いの場の創造と緑の保全を目的とし、本年度は、福生市牛浜7番地2外5筆の面積1665.15㎡の用地買収を行った。 また、JR五日市線より多摩橋通りまでの工事を行った。 ・土地鑑定委託料 942,900円 ・実施設計委託 3,722,250円 ・監理委託 2,467,500円 ・工事 149,719,500円 ・用地買収費 210,662,224円 ・事務費等 599,023円
11 公営住宅ストック総合活用計画作成委託	2,887,500円	市営住宅の建替、維持保全等の計画的な改善・更新を進めて行くため、現在管理する市営住宅(ストック)を総合的に活用するための計画を作成した。
12 低公害車の購入	9,450,000円	公用車の買換えにおいて公害防止、環境保全及び地球温暖化防止に配慮し、低公害車を購入した。 購入した課 ・環境課(作業車 1台) 4,725,000円 ・土木課(作業車 1台) 4,725,000円

(6) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 低公害車の購入	4,935,000円	公用車の買換えにおいて公害防止、環境保全及び地球温暖化防止に配慮し、低公害車を購入した。 購入した課 総務課(指揮車 1台)
2 防災行政無線屋外子局等増設工事	2,887,500円	防災行政無線放送の難聴地域解消のため、屋外子局の設置及びスピーカーの増設工事を行った。 ・屋外子局の設置場所 福生第一中学校校庭南側 ・スピーカーの増設場所 福生第六小学校屋上
3 避難所用備蓄倉庫の設置	1,564,500円	指定避難場所である都立多摩工業高等学校に備蓄倉庫を設置し、避難所運営に必要な備品を配備した。 ・1基 ・サイズ:6,150mm×2,350mm×2,380mm ・ステンレス加工、断熱材使用
4 災害備蓄品配備	4,920,163円	災害時に備え、食糧と備品の配備をした。 食糧 2,897,160円 ・乾パン:3,000缶 ・アルファ米:3,000食 ・サバイバルフーズ:3,000食 ・乾燥おかゆ:1,000袋 ・粉ミルク:100缶 備品 2,023,003円 ・避難所用救急箱(セルフケアセット):1セット ・避難所用発電機セット:1セット ・災害用簡易ベッド:3台 ・災害用簡易トイレ:2基 ・折りたたみ式担架:10台 ・キャスター付き担架:3台

事業名等	事業費	内容と成果
5 耐震性貯水槽新設事業	18,249,000 円	<p>災害時の水利確保のため、耐震性貯水槽 1 基を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 福生市南田園二丁目 14 番地 2 福祉センター駐車場敷地内 ・規模 100 m³級鋼製耐震性貯水槽 ・設計委託料 1,428,000 円 ・監理委託料 546,000 円 ・工事請負費 16,275,000 円

(7) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育広報「福生の教育」の発行	1,326,784 円	<p>平成 15 年度から福生市の教育を広く市民に周知するため、教育広報「福生の教育」を発行し、市内全戸に年 3 回配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 タブロイド版 1 色印刷 4 ページ ・内容 教育委員会全般の事業紹介等 ・発行部数 1 回当たり 27,400 部 ・印刷代 636,682 円 ・配布委託 690,102 円
2 専任教育相談員報酬	7,272,000 円	<p>教育相談室に相談員を 1 名増員し、学校教育相談室との連携の充実と機能の継続を図った。</p>
3 教育相談活動助言者謝礼	132,800 円	<p>多様化、専門化する教育相談内容に対処するため、教育相談員に対する専門家による助言・指導を定期的に行い、教育相談員の資質の向上と適切な問題解決を図った。</p>
4 英語教育指導員（外国人）事業委託	10,500,000 円	<p>中学校の英語指導員の増員を図り、英語教育のより一層の内容充実とともに、小学校への派遣による児童の国際理解に関する学習の充実を図った。</p>
5 小学校授業指導補助員報償金	5,773,200 円	<p>不登校の一つの要因とされる学力不足による学校嫌いの解消を図るため、小学校第 3 学年の算数授業及び第 1 学年の国語授業に指導補助員を配置し、指導教員の補助として個別指導等を行い、学力の向上を図った。</p>
6 主幹級職教員用机椅子購入	966,000 円	<p>東京都の公立学校に主幹制度が導入されたことにもない、備品を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 588,000 円 ・中学校 378,000 円
7 定期健康診断介助者謝礼	310,800 円	<p>児童・生徒の安全確保を図るとともに、適正な健康診断をより円滑に行っていくため、歯科、耳鼻科定期健康診断に加えて、内科定期健康診断に介助者を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校定期健康診断 介助者 26 人 金額 192,400 円 ・中学校定期健康診断 介助者 16 人 金額 118,400 円
8 学校図書室用及び教職員用パソコン借上	8,048,880 円	<p>教材作成等、情報の共有化に資するため、パソコン教室、図書室、職員室に校内 LAN を構築し、情報収集手段の一つとしてインターネットに接続したパソコンを中学校 3 校、小学校 1 校の図書室に 4 台ずつ、小中学校の教職員室に 1 台ずつ設置した。</p> <p>また、事務執行、教材作成等に活用するため、教職員用パソコンを小中学校に 6 台ずつ導入した。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンハード 4,810,050 円（図書室用 1 校 職員室用 7 校） ・パソコンソフト 189,630 円（7 校） <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンハード 2,887,500 円（図書室用 3 校 職員室用 3 校） ・パソコンソフト 161,700 円

事業名等	事業費	内容と成果
9 修学旅行等負担補助金	15,536,400円	小・中学校の修学旅行等に参加した児童・生徒の保護者に補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図った。 ・小学校移動教室 人員 576人 金額 4,320,000円 ・中学校修学旅行 人員 504人 金額 7,711,200円 ・中学校移動教室 人員 508人 金額 3,505,200円
10 第五小学校便所改良事業	41,299,402円	校舎内トイレの老朽化による臭気が激しかったため、便所工事を行い乾式に変更し、児童の校内生活環境の向上を図った。 男子便所 4箇所 女子便所 4箇所（男子・女子ともに西側） ・監理委託料 1,018,500円 ・工事 40,267,500円 ・事務費等 13,402円
11 第三中学校創立30周年記念誌作成	477,750円	第三中学校創立30周年事業の記念誌発行に対して補助を行った。
12 部活動発表会場借上	90,000円	中学校部活動の成果を発表する会場を借上げ、部活動への支援を行った。
13 新入学生徒学用品扶助	3,985,200円	中学校新入学生徒の保護者負担軽減を図るため、学用品等購入費の一部を援助した。 ・対象者 123人 ・学用品費 2,755,200円 ・標準服購入費 1,230,000円
14 第二中学校防音機能復旧（復機）事業	227,646,463円	既設空調設備機器が、老朽化し機能が低下したため、空調設備機器の取替工事を実施し室内環境の改善整備を図った。 ・監理委託料 3,404,100円 ・工事 224,204,400円 ・事務費等 37,963円
15 中学校昼食対策事業（第一中学校ランチルーム等整備事業）	267,449,471円	生徒の心身の健全な育成を図るための昼食事業を実施するため、ランチルームの新設工事を行った。ランチルームは、弁当併用、複数メニュー、学年集会や学年保護者会等にも利用可能な多目的ホールを設置し、食事を楽しむ環境の整備、業者委託を基本とする中学校昼食対策の方針に添って整備した。また、名称については、学校が「フォレストホール」と名づけた。 整備事業費 262,778,748円 内訳 ・監理委託料 3,780,000円 ・工事 258,790,350円 ・事務費等 208,398円 なお、ランチルームの本格実施に際して、多くの方々に理解してもらうために、第一中学校生徒・保護者、第二小学校六年児童・保護者、第三小学校六年児童・保護者等に対して試食会を行った。 事業費 4,670,723円
16 低公害車の購入	10,332,000円	公用車の買換えにおいて公害防止、環境保全及び地球温暖化防止に配慮し、低公害車を購入した。 購入した課 学校給食課（給食用配送車 2台） ・5,092,500円 ・5,239,500円
17 「男女共同参画情報誌」発行回数及び配布方法の変更	1,208,102円	情報誌の発行回数を年間2回から3回に増やした。また、施設の窓口等で配布（4,000部）していた配布方法を市内全戸配布にして、男女共同参画の推進に関する情報を周知した。 ・第12号 発行部数 28,000部 ・第13号 発行部数 28,200部 ・第14号 発行部数 28,200部

事業名等	事業費	内容と成果
18 市民会館等改修調査事業	4,095,000 円	施設の老朽化、市民の多様なニーズの変化、更なる利用促進に対応し、ひいては地域社会の活性化に寄与する施設とする施設リニューアル計画を策定するため、利用者のニーズや施設の問題点等についての調査を実施した。 ・改修調査事業委託料 4,095,000 円
19 図書館 3 館入口扉改良工事	10,951,500 円	図書館 3 館（中央・わかぎり・わかたけ）の入口扉を自動化することにより、利用者の利便性向上を図った。 なお、本事業は東京都福祉局所管「福祉のまちづくり地域支援事業」に係る補助金の交付を受けた。 内訳 ・中央図書館 3,360,000 円 ・わかぎり図書館 3,045,000 円 ・わかたけ図書館 4,546,500 円 都補助額（補助対象経費 × 1 / 2） 5,191,000 円
20 図書館 30 周年記念誌発行	316,680 円	図書館開館から 30 年が経過し、その節目として記念誌を発行し、図書館の更なる PR と利用向上を図った。 ・A 5 判 120 ページ 800 冊

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給付費給付	1,796,274,152 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 153,056 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 108,399 円 ・受診率 966.68 % ・1 件当たり費用額 15,833 円
2 退職被保険者等療養給付費給付	746,871,993 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 342,778 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 247,719 円 ・受診率 1,984.54 % ・1 件当たり費用額 17,272 円
3 一般被保険者療養費支給	28,069,042 円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 2,401 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 1,694 円 ・支給件数 3,690 件 ・1 件当たり保険者負担額 7,607 円
4 退職被保険者等療養費支給	10,260,803 円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 4,680 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,403 円 ・支給件数 1,163 件 ・1 件当たり保険者負担額 8,823 円

事業名等	事業費	内容と成果
5 一般被保険者 高額療養費支給	163,739,611円	<p>一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円（上位所得者については139,800円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 1,694件 ・1件当たり保険者負担額 96,659円
6 退職被保険者等 高額療養費支給	51,433,237円	<p>退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円（上位所得者については139,800円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 532件 ・1件当たり保険者負担額 96,679円
7 出産育児一時金支給	51,000,000円	<p>被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 170件 ・1件当たり支給額 300,000円
8 葬祭費支給	7,860,000円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 262件 ・1件当たり支給額 30,000円
9 結核・精神医療 給付金支給	2,055,568円	<p>被保険者が、「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に生じた自己負担額（高額療養費を含む。）を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 2,770件 ・1件当たり支給額 742円
10 老人保健拠出金	1,484,513,986円	<p>老人保健法による被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、医療費、事業費及び事務費を拠出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費拠出金 1,468,840,330円 ・事務費拠出金 15,673,656円
11 介護納付金	268,191,754円	<p>介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。</p> <p>36,513円×7,148人 + 7,196,830円（平成13年度精算分）</p>
12 高額療養費資金貸付	31,264,367円	<p>被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付件数 124件 ・貸付金額 31,264,367円 ・費用額 125,367,050円
13 保養施設宿泊費補助	210,000円	<p>被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象者 71人

3 老人保健医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
老人医療給付	3,407,734,558 円	70 歳(平成 14 年 10 月からは 75 歳)以上(寝たきり状態等の者は、65 歳以上)の者を対象に医療給付を行った。

4 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護サービス等給付費	1,918,775,378 円	要介護認定を受けた被保険者で、要介護 1 から 5 の在宅・施設の方に対して、介護サービスを給付した。
2 支援サービス等給付費	45,011,167 円	要支援認定を受けた被保険者で、要支援の在宅の方に対して、支援サービスを給付した。
3 審査支払手数料	3,378,515 円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査及び支払事務を東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
4 高額介護サービス費	12,434,726 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が、利用者負担上限額を超えた分について高額介護サービス費を支給した。
5 主治医意見書作成費	8,492,403 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、主治医等に主治医意見書の作成の依頼を行った。
6 要介護認定調査委託	1,524,810 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、介護保険施設及び指定居宅介護支援事業者等に要介護認定(訪問)調査を委託し、事務の効率化を図った。
7 認定調査嘱託職員報酬	4,620,000 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、嘱託職員を採用し、市民に対して公平に、要介護認定(訪問)調査を実施し、事務の効率化を図った。
8 (高齢者の筋力トレーニング)パンフレット印刷代	3,213,000 円	健康づくり寝たきり予防のため、高齢者に軽度の筋力トレーニングをしていただき、介護とならないよう健康維持、増進を図っていただくよう作成し、老人クラブ会員高齢者事業団会員に配布した。併せて各地域会館においても配布した。

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
福生電線共同溝汚水管移設	54,705,000 円	国道 16 号線電線共同溝設置工事に伴う汚水本管、人孔及び取付管の支障移設を実施した。 ・設計委託料 3,360,000 円 ・工事請負費 51,345,000 円